



岐阜県現代陶芸美術館
「美濃焼の原料について」

7月15日、岐阜県現代陶芸美術館とともに土岐市立土岐津中学校へ出張し、3年生4クラス（108人）に対し、美術の授業を行いました。粘土の原料や桃山時代の陶片に触れながら美濃焼の歴史と発展について理解を深めることで、郷土の歴史・文化の素晴らしさに気づき、生まれ育った土岐市に誇りをもってもらうことをねらいとしています。この授業は、今後、土岐市内の他の中学校でも実施する計画を進めています。



土岐市美濃陶磁歴史館
「多様な美濃焼について」

《講座・企画展スケジュール》

◆学芸員と学ぶ講座（令和7年度後半）

1

専門家に聴く「石に刻まれた記憶～浅野の石造物保存と修復の技～」

日時：11/8（土）13:30～15:00 定員：40名

講師：山川均氏（元大和郡山市文化財保存活用係主任技師）、谷本雅一氏（（株）谷本石材）

会場：土岐市立肥田公民館1階大ホール

2

現地探訪「謎多き山城、細野城へ登ろう」

日時：12/6（土）10:00～12:30 定員：20名

※小学生以下は保護者同伴、雨天の場合12/13（土）へ順延

講師：澤井計宏（当館学芸員） 会場：細野城址 集合場所：正福寺駐車場

3

体験と学び「織部デザインに触れよう！」

日時：1/18（日）13:30～15:00 定員：20名

講師：春日美海（当館学芸員）

会場：土岐市文化プラザ3階第5研修室

4

探訪と学び「やきものの大狒犬に会いに行こう！」

日時：2/14（土）14:00～16:00 定員：40名

講師：鍋内愛美（当館学芸員）

会場：白山神社 / 土岐市立泉公民館1階ホール

5

現地探訪「新博物館周辺遺跡を歩く～元屋敷窯と乙塚・段尻巻古墳～」

日時：3/14（土）13:30～15:30 定員：40名 ※雨天の場合3/21（土）へ順延

講師：中嶋茂 / 澤井計宏 / 春日美海 / 鍋内愛美（当館学芸員）

会場：元屋敷陶器窯跡 / 乙塚古墳・段尻巻古墳



受講料無料 / 要事前申込 / 受付開始9/30（火）※先着順

申込方法 電話（0572）55-1245 またはメール（toki_museum@toki-bunka.or.jp）

参加者氏名（全員分） / 希望の回 / 代表電話番号 / お住いの市町村名を記載

講座のメール申込はこちら



※展示・講座の内容や期間が変更になる場合があります。
詳しくは当館ホームページでご確認ください。

◆次回館外展示

「美濃焼と土岐の歴史・文化をたどる」（仮）

日時：2026年2月7日（土）～6月7日（日） 会場：土岐市美濃焼伝統産業会館



美濃陶磁歴史館だより

展示や講座、発掘調査の成果、文化財関係事業のお知らせ

美濃陶磁歴史館は新博物館準備のため休館中です



土岐市の歴史・文化

トキハク
プロジェクト

NEWS

土岐市美濃陶磁歴史館が、新しい博物館へと生まれ変わるプロジェクトについてお知らせいたします。

新博物館の理念
《開かれた扉》

テーマ
「美濃焼」と
「土岐市の歴史・文化」

《開館までのスケジュール》

令和6年 令和7年 令和8年 令和9年 令和10年 令和11年

実施設計・設計見直し

解体工事

造成

建築・外構工事

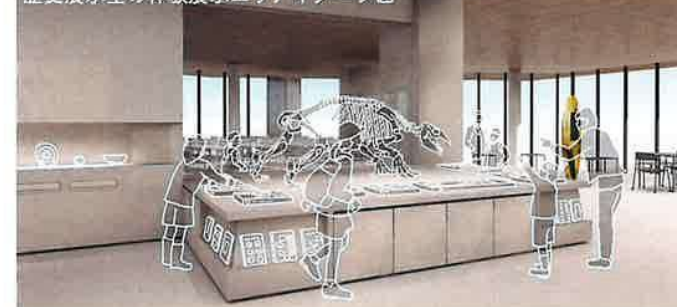
展示物・備品類設置

開館準備

開館
（予定）

新博物館イメージ図

歴史展示室の体験展示エリアイメージ図



新しい博物館の概要



市政報告会

ウエルフェア土岐にて

7月1日から市内6か所の会場で、市の重点事業「人口減少」「新病院」「新しい博物館」をテーマに市政報告会が行われました。当館学芸員からも「新しい博物館の概要」についてお話をさせていただきました。ご参加いただいた方々からいただいたご質問やご意見、当日の配布資料など、詳細につきましては土岐市ホームページにてご覧いただけます。みなさんに喜んでいただける博物館とすべくこれからも鋭意進めてまいります。



土岐市ホームページは
こちらから



トキハクプロジェクトメンバー登録フォームのご案内

登録
フォームは
こちらから



土岐市の新博物館を応援し、つながるためのメンバー登録フォームです。ご登録いただくと、新博物館や土岐市美濃陶磁歴史館に関わるイベント、ボランティア募集など最新情報をメールでお送りいたします。ぜひご登録ください。

展示・活動報告

令和7年度前半

開催中

土岐市制 70 周年記念事業

土岐市が育んだ芸術 一大陶都誕生からのあゆみ

昭和 30 年（1955）に始まった土岐市としてのあゆみは、本年で 70 年を迎えました。8 ヶ町村が合併したことで誕生した本市は、各町村の美濃焼の生産力が合わさり「大陶都誕生」と沸き立ちました。美濃焼産地としての勢いが加速する一方で、芸術的側面においても陶磁器産地ならではの取り組みをスタートさせます。昭和 61 年（1986）に日本現代陶彫展、平成 9 年（1997）に日本ユーモア陶彫展と、陶磁を素材とした彫刻の公募展を開催しました。平成元年（1989）には、茶の湯の器「織部焼」が史実に登場した慶長 4 年（1599）の宗湛日記から、2 月 28 日を「土岐市織部の日」に制定。記念行事として織部の心作陶展が始まりました。その流れを汲む現代茶陶展は、平成 7 年（1995）から現在まで続いています。陶彫、茶陶という極めて特異な公募展は、さまざまな作り手たちの挑戦の場として、作り手とともに歴史を重ねてきました。本展では、土岐市制 70 周年を記念し、やきもののまち土岐市ならではの芸術のあゆみを作り手たちの創作の軌跡とともに振り返ります。



土岐市報（昭和 29 年 10 月 5 日）



黒岩達大「緑釉茶壺」
第 10 回現代茶陶展
TOKI 織部優秀賞



アグネス・フス「波紋」
第 15 回現代茶陶展
TOKI 織部大賞



樽田裕史「つばみ」
第 16 回現代茶陶展
TOKI 織部大賞

会期：2025 年 7 月 19 日（土）～ 11 月 24 日（月）
会場：土岐市美濃焼伝統産業会館 第 1 展示室

土岐市制 70 周年記念事業

学芸員と学ぶ講座 令和 7 年度前半

昨年度より、休館中に新博物館のテーマについて学ぶ「学芸員講座」を開始しました。2025 年度は、市民と学芸員とが「共に学ぶ」という思いを込めて「学芸員と学ぶ講座」と改題し、テーマや開催場所を拡大させて開催しています。令和 7 年度前半は一般講座 4 回、子ども講座を行いました。一般講座は各回 40 ～ 70 名程度、子ども講座は子ども 41 名と保護者の方々にご参加いただきました。

《開催内容》

- 1 博物館入門「学芸員が語る！博物館の現在、未来」
- 2 専門家に聴く「パレオパラドキシアの謎に迫る」
- 3 学芸員研究最前線「箱館焼」
- 4 学芸員研究最前線「あの明智氏の館は素木にあった！」
- 5 子ども講座「石をけずって みがいて まが玉をつくろう」



「パレオパラドキシアの謎に迫る」



「石をけずって みがいて まが玉をつくろう」

開催中

岐阜県美術館

古墳時代から織部、そして現代へ 土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財

会期：2025 年 8 月 23 日（土）～ 11 月 3 日（月・祝） 会場：岐阜県美術館 展示室 1・2（岐阜市宇佐 4-1-22）

岐阜県美術館にて、土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財をテーマとした展覧会が開催されています。土岐市美濃陶磁歴史館のコレクションから選び抜いた名品に、土岐市の寺社に伝わった貴重な文化財を加え、当地で育まれてきた優れた造形美を古墳時代から現代までたどります。元屋敷陶器窯跡出土品（重要文化財）の織部など美濃桃山陶や、小山富士夫、塚本快示などの作品、そして仏像、書画などが展示されています。

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu



《美濃陶磁歴史館のコレクション》



「須恵器鳥鈕蓋」
乙塚古墳出土
飛鳥時代（7 世紀前半）



「古瀬戸鉄釉瓶」
穴弘法窯
室町時代（15 世紀中頃）



「黒織部茶碗」
元屋敷窯
重要文化財
江戸時代（17 世紀初頭）



「上絵美人図カップ&ソーサー」
中島玉吉
明治時代（19 ～ 20 世紀）



「タタキ土瓶」
知山陶苑
昭和時代（1950 年代）

《土岐市の寺社の文化財》



「十王像群」
市指定文化財
御幸町十王堂保存会蔵
江戸時代前期
延宝元年（1673）



「木像釈迦如来立像」
重要文化財
崇徳寺蔵
鎌倉時代後期（13 世紀）

土岐市美濃陶磁歴史館 × 岐阜県美術館協同ワークショップ

当館学芸員が岐阜県美術館へ出張し、協同ワークショップを 2 回開催しました。楽しみながら美濃焼に親しんでいただくことができました。

- 1 「織部デザインに触れよう」
- 2 「金継ぎ風陶片アクセサリー作り体験」



「織部デザインに触れよう」



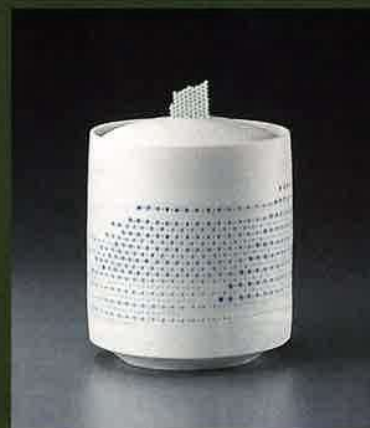
「陶製神猿」
久尻神社蔵
江戸時代末期
万延元年（1860）

土岐市制 70 周年記念事業

第 17 回 現代茶陶展

土岐市には、今からおよそ 400 年前に、それまでの茶の湯の価値観にとらわれない革新的なデザインの器「織部焼」を生産していた国史跡・元屋敷陶器窯跡があります。その革新性を、現代の茶陶にも見出すことを期待して企画したのが「現代茶陶展」です。今年は、全国 31 都道府県 218 名から 295 点の応募があり、入賞 10 作品、入選 50 作品が選ばれました。

会期：2025 年 8 月 9 日（土）～ 17 日（日） セラトピア土岐 小ホールにて開催しました。



TOKI 織部大賞（堂手ノ水指）たにぐちさと



審査風景（右より榎本徹氏、赤沼多佳氏、伊藤嘉章氏、三笠景子氏）

現代茶陶展トークセッション《現代茶陶で挑む 新たな創造のステージへ》

土岐市制 70 周年記念事業「第 17 回現代茶陶展 展示会」の関連行事として開催したイベントです。「現代茶陶展」の魅力をあらためて見つめ直すため、歴代の大賞受賞者や入賞者、審査員、学芸員という異なる立場の三者によるトークセッション形式としました。過去に出品された作品などを通して作家のヒストリーを紹介し、現代茶陶に挑戦する意義や、そこから何が生み出されたのかについて語っていただきました。

《登壇者》

陶芸家：アグネス・フス氏、黒岩達大氏、高橋朋子氏
伊藤嘉章氏、当館学芸員（中嶋・春日・鍋内）

2025 年 8 月 9 日（土）にセラトピア土岐大会議室にて開催しました。



トークセッションの様子